

# 大洗一中学校だより 輝け!

平成29年 5月24日(水)  
大洗一中学校だより NO. 7  
大洗町立第一中学校 267-5288

□子どもたちの良いところ、頑張っているところを認め、励まし、褒めていきます。

☆子どもたちの力を引き出し、伸ばし、成長させる「魔法の言葉」、これぞプロ!

放課後の部活動に一生懸命取り組む子どもたちの姿を見るのが楽しみで、よく部活動巡りをしています。各部とも、生き生きと活動する子どもたちと熱心に指導する先生方との熱い関係が見えてきます。その日によって回る順番は違いますが、できるだけ吹奏楽部を最後にしたいと考えています。それは、「どンドン音が良くなっていく全体練習」が大好きだからです。吹奏楽部が入学式に向けて体育館で練習していたのを聴いていたときのことです。「いい音だなあ」と思って聴いていると、指揮をする宮本先生の手が止まり、優しく丁寧な言葉で大事なポイントを確認していきました。「聴いている人に伝えるためにはどうすればいいか」を考えさせ工夫させます。「いいねえ」「すごくいいねえ」「ここは〇〇だね」と、温かい言葉が次々と子どもたちに注ぎ込まれます。この温かい言葉が子どもたちの力を引き出していくのです。素人の私にも、子どもたちの奏でる音がみるみる変わっていくのがわかります。なんと素晴らしいのでしょうか。まさに「魔法の言葉」、これぞプロです。勿論、子どもたちと宮本先生との信頼関係が根底にあることは言うまでもありません。それ以来、吹奏楽部の全体練習にお邪魔するのが楽しみになりました。また、6時過ぎに音楽室のドアを叩いてみたいと思います。



☆担任から子どもたちへの「温かいメッセージ」が、教室の黒板に毎日書かれています!

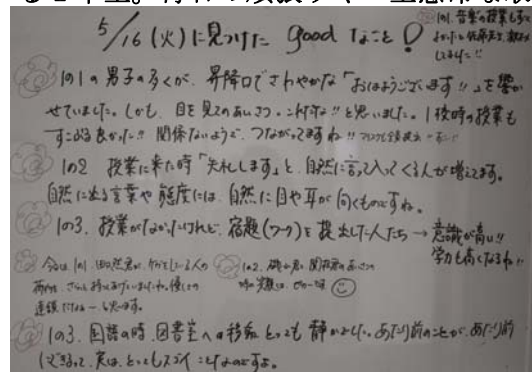


朝、教室を何気なく回っていたとき、3年1組の教室の黒板が、文章が書かれたままの状態になっていました。最初、日直が消し忘れたのかと思っていましたが、良く読んで見るとそうではなかったのです。担任から子どもたちへの「温かいメッセージ」が書かれていたのです。子どもたちは、朝登校すると、担任からの「温かいメッセージ」を読んで、「よし今日も頑張るぞ」と一日のスタートを切るのです。担任の思いが「温かいメッセージ」となって毎日子どもたちに注ぎ込まれ

ていきます。そういえば、夜遅く3年1組の電気がついていたのは、西野先生が黒板に熱い思いをしたためていたからだったのですね。毎日続けることは、大変なことだと思いますが、子どもたちと西野先生の温かいやりとりを、これからも応援していきます。

☆1年生の頑張りや素晴らしい行い、模範的な取組を、先生方もしっかり見えています。

中学校生活にも慣れて、生き生きと学校生活を送っている1年生。毎日の頑張りや一生懸命な取組に、頼もしさを感じます。たくましく立派に育っていて、とてもうれしく思います。そんな子どもたちの素晴らしい行いや頑張っている姿を先生方は見逃しません。本人を褒めることは勿論ですが、ホワイトボードに書いてみんなに紹介したり、写真に撮って掲示したりと、私たちの指導の目標のとおり「みとめて、まかせて、はげまして」います。また、何気ない子どもたちとの関わりの中で発見した良いところを、「ちょっと、いい話」として、これまたホワイトボードで紹介してくれています。小田嶋先生の子どもの良さを認め、褒めて育てるという方針を形にした「ナイスアイデア」に感謝です。



□5月22日付け第6号で、3年男子バスケット部の照沼さんの名前を「幸太さん」と誤って表記してしまいました。正しくは「幸大さん」です。お詫びして訂正いたします。